

病院長	地域医療連携部長	看護部長	事務部長	医療連携室係長

2023年度 第1回地域医療支援運営委員会議事録

日時 2023年5月25日（木）14:00～15:00

場所 藤田医科大学岡崎医療センター大会議室2 / ハイブリッド形式

司会 市川邦宏

出席者 【院外】(Zoom) 田那村 収、升川 浩子、渡部 真法、高村 俊史、鈴木 勝久
(来訪) 加藤 政幸

【院内】鈴木 克侍、有嶋 拓郎、小島 菜保子、濱野 和治

欠席者 【院外】片岡 博喜、金澤 一徳

(敬称略)

1. 開会

- ・病院長より挨拶

昨年度は様々な資格の認定を受けた。基幹型臨床研修病院として、2人の研修医が勤務予定である。また、災害拠点病院や地域医療支援病院、DPC準備病院の認定を受けた。病院機能評価も高成績で認定された。今年度はより充実を図るための基礎を固めていく。

今年は「挨拶」に力を入れていきたいと考えている。患者さんと職員で声を掛け合う事により病院を活性化させたい。より良い病院にするため、委員の皆様には貴重なご意見をお伺いしたい。(鈴木)

2. 当院からの報告(資料①)

- ・資料①の通り。

前方/後方連携の実績、共同利用の実績、救急医療提供の実績、地域の医療従事者に対する研修活動、当院からのお知らせを報告した。(有嶋)

3. 各委員からご意見ご要望等

【愛知県医師会 理事 田那村収】

- ・今回初めて参加させていただいた。当院の患者もお世話になっており感謝申し上げる。
- ・COVID-19患者の受け入れ状況や、今後の方針について教えてほしい。
 - COVID-19患者の受け入れについて、医療圏外の場合応需できないこともあったが、第5・6波では54人/日まで対応していた。(有嶋)
 - 3月後半時点では、COVID-19入院患者は当院で平均2,3名、藤田医科大学病院で平均10名であった。ウイルス自体の変化はないため、基本的な感染予防措置は継続していく方針。(鈴木)

【岡崎市医師会理事 升川浩子】

- ・地域医療の発展に努力していただき感謝申し上げます。今後も地域医療に貢献していきたい。
- ・COVID-19 5類移行に伴う対応について教えて欲しい。
→ウイルス自体の変化はないため、基本的な感染予防措置は継続していく方針。
今まで通り院内での面会は不可としているが、今後の動向を踏まえ規制を緩和する可能性もある。(鈴木)

【岡崎歯科医師会副会長 渡部真法】

- ・着々と業績が伸びており、努力がうかがえる。
- ・歯科口腔外科外来を開設して欲しい。歯科医院で治療し、歯科口腔外科の専門の先生の治療が必要な場合に「岡崎市民病院」「安城更生病院」「蒲郡市民病院」を紹介すると、「藤田医科大学岡崎医療センターに受診したい」という患者が多い。
→現在は人員不足の為、外来を開設するまでには至っていない。
現在、口腔ケア（術前・術後）のために1回/週、藤田医科大学病院から医師を派遣して対応している。近隣の医療機関からの強いご要望があれば、検討したい。(鈴木)
→ご検討の程よろしくお願い申し上げます。(渡部)

【岡崎薬剤師会会長 高村俊史】

- ・電子処方箋について、2023年1月より運用開始したが、岡崎医療センターではどのように対応する予定か。
→まだ未対応であり、現状では人員等都合で対応が難しい。ご要望があるということであれば検討したい。現在敷地内薬局は無いため、院内処方を強く希望する患者さんのみ院内処方を実施している。(鈴木)

【岡崎市立岡崎小学校校長 鈴木勝久】

- ・本年開校150年目を迎える（明治6年開校）。現在児童は796名、職員69名。
校舎も改修工事を実施中。開校150周年記念式典は、改修工事完了後の令和7年に実施予定のため承知おきいただきたい。
- ・昨年、学校保健委員会で、藤田医科大学岡崎医療センター看護主任 西山に講演いただいた。今年9月の学校保健委員会の演者として、再度お願いしたいと考えている。
→開院時には小学生の児童のみなさんに色々とお手伝いいただき感謝している。開校150周年記念式典や講演等、お手伝いできることがあれば全面的に協力させていただく。(鈴木)

【岡崎学区総代会会長 加藤政幸】

- ・岡崎医療センターが開院した際、ダイヤモンドプリンセス号乗員乗客の受入れを行うとのことで、当時は「迷惑」と感じていたが、地域説明会の際は適切な説明を実施していただき、一緒に頑張ろうと思えた。岡崎小学校もコロナ小学校といわれた中で、3年間病院が頑張られ、現在では岡崎学区＝「藤田があるところ」と言われるようになったのが誇らしい。今後も学区として全面的に協力したい。総代の中でも、自慢げに藤田に入院してきたという人がいる。

- ・病院という組織ではなかなか難しいと思うが、今後は対面での行事が増えると良いと考える。
→ダイヤモンドプリンセス号乗員乗客の受入当時は、「なぜ1人も陽性者がいない地域に陽性者を」という意見は当然あったと思う。1人も二次感染を出さないといった取り組みが、地域に評価され嬉しい。このようなミッションを成し遂げることができたのは、日頃からの感染対策が実践で実を結んだこと、地元の方の熱い声援や、学区の方が地域説明会での話を聞き、受け入れていただけたからである。今後は東海南海トラフなどの災害も考えられる。岡崎市に限らず、地域のために貢献する為、ぜひ期待して欲しい。今後も地域に貢献してより良い病院にしたいため、お気づきの点などがあれば教えていただきたい。(鈴木)

4. 閉会

- ・鈴木より閉会の挨拶。
- ・次回以降の開催予定日は以下の通り。
2023年度第2回地域医療支援運営委員会 2023年8月24日(木) 14:00~15:00

以上

文責：市川、小田、山口